



SSKW すてっぷ だより

No.71



編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com> w-step@s-step.com

平成30年度 すてっぷ後援会総会 開催!

平成30年4月23日(月)前橋市総合福祉会館第1会議室におきまして、出席者61名、委任状106名にて社会福祉法人すてっぷ後援会総会を執り行うことができました。講演は、サービスステーションすてっぷ管理者の関口晃一氏より、自身の体験を交え、すてっぷ後援会の歴史についてお話をいただきました。



《平成29年度収支決算報告》

収入合計 2,378,311円(会員会費、ハンドメイド展等)

支出合計 2,066,586円(消耗品、通信、すてっぷへ800,000円寄付等)

繰越金 311,725円(平成30年度へ繰越し)

2002年から16年後援会会長を務めていただき、ありがとうございました。

《平成30年度役員》

今年度の新役員が決まりましたので、皆様にご報告させていただきます。長年すてっぷ後援会のため、会長として尽力されてきた猿木素子様が無事退かれ、今年度から清宮聖子新会長のもと新たなメンバーでスタートをいたします。



会長 清宮 聖子

副会長 竹内 有紀

斎喜 弘美

書記 勅使川原 恵子

会計 坂井 佳代子

中島トモ代

監事 中島 初枝

児玉 峰子

- すてっぷ後援会長新年の挨拶 -



私は、長い間すてっぷのスタッフとして直接利用者さんの支援をさせて頂き退職となりました。しかし何かすてっぷをお手伝いできるならばとの思いで会長を引き受けさせて頂きました。

すてっぷは、「利用者さんにとって必要な事は?」という考えから次々と部署を立ち上げてきました。しかし、まだまだ足りないと思われる事もあります。例えば障害を持った方が地域で生活するためのグループホームです。すてっぷでもグループホームを運営していますが、ホームを必要とされている利用者さんはまだ数多くいます。

「後援会として少しでもすてっぷ利用者さんのために役立つ事があるのではないのでしょうか?」すてっぷ後援会は会員の皆さんと共にすてっぷをお手伝いする会です。皆さんが一同となり年間行事(12月1日、2日にはチャリティーアート展を開催予定)を行い、すてっぷに寄り添った支援が出来ることを望んでいます。そして私たち後援会会員に出来ることは一人でも多くの会員を募る事です。後援会員としてすてっぷを知らない方々に声を掛け合おうではありませんか。それが利用者さんの支援に直接つながります。皆さんと一緒にすてっぷを応援出来ることを願っています。

どうぞ宜しくお願いします。

すてっぷ後援会長 清宮聖子

わーくはうす・れいんぼう 鈴木施設長から

2人の施設長へバトンタッチ



2000年のわーくはうすすてっぴ開所以来施設長を勤めた鈴木隆子から、この度わーくはうすすてっぴの施設長を引き継ぎました。障害のある方々が地域社会の中で、ふつうに働く、ふつうに暮らす、ふつうに楽しむことが出来るよう、職員と共に力を尽くして参ります。もとより微力ではありますが、精励致す所存でございますので、前任者同様ご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

経歴

平成 15年 社会福祉法人すてっぴ 入職
わーくはうすすてっぴ パソコン班指導員
平成 17年 法人本部総務課 課長
平成 19年 社会就労センターぴいす 施設長
平成 30年 わーくはうすすてっぴ 施設長

社会福祉法人すてっぴ

わーくはうすすてっぴ 施設長 新井 巨
(社会就労センター ぴいす 施設長 兼務)



昨年11月に開所したれいんぼうかんぱにの施設長も鈴木隆子から上村佳子に交代することとなりました。誰もが自然の豊かさを楽しむ、心地良さを感じられる場所、障害のある方も地域の方も気兼ねなく集えるcafeを目指して利用者さん、職員達と日々作り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

経歴

平成 12年 社会福祉法人すてっぴ 入職
わーくはうすすてっぴ パン班指導員
平成 15年 とらっば 指導員
平成 16年 わーくはうすすてっぴ 指導員
平成 18年 サービス管理責任者
平成 19年 社会就労センターぴいす サービス管理責任者
平成 22年 わーくはうすすてっぴ サービス管理責任者
平成 27年 とらっば 施設長
平成 30年 れいんぼうかんぱに 施設長

社会福祉法人すてっぴ

れいんぼうかんぱに 施設長 上村佳子
(とらっば 施設長 兼務)

れいんぼう祭り

日時：2018年7月29日(日) 〈雨天決行〉
17:30~20:00

場所：れいんぼうかんぱに TEL:027-226-1547
(所在地：前橋市柏倉町520-1)

★GOROPIKA ファイヤーパフォーマンス

★くるくる棒パン 無料体験

★れいんぼうCafé 営業

★屋台(100円~500円)

ホットドック、カレー、スペアリブ
ソフトクリーム、ステーキ など

※ご来場の際は駐車場に限りがありますので、なるべく
乗り合わせでお越し頂きますようお願い致します。



**施設内はバリアフリーになっており、
見学もできます。**

ぜひ、みなさん遊びにきてください♪

平成30年5月12日(土)

すてっぴ祭り 開催しました!

今年は、『みんな』で楽しいひと時を過ごそうをテーマに開催しました。

天候にも恵まれ、203名という多くの方に参加していただき、ありがとうございました!!

屋台村



おもちゃくじを担当。



パン班みんなでピザの販売

パン作り体験



初めてパン生地に触れる方も多く、感触を楽しみながら一生懸命に作っていました。



販売の合間にみんなで休憩。



説明書を見ながら真剣に。

お猿のショー



目の前で見るパフォーマンスに大歓声があがり、盛り上がりました!

au 三太郎シリーズのCMに出演のお猿さん。

コーラス発表



わーくはうす、れいんぼう合同で毎月2回の練習を積み重ね、練習の成果を発表。3曲歌い上げました!

年に1回開催される『すてっぴ祭り』は、日頃の感謝を込めて地域の方々やご家族と楽しむイベントであり、地域交流の一環となっています。

法人の全部署が協力して、皆さんに楽しんでいただけるよう企画しています。

すてっぴのことを知っていただき、すてっぴのサポーターが増えていくことで、障がいを持った方の地域生活への支援に繋がっていきます。

特別講演 - 『生きることは美しい』

講師：河田真智子氏

すてっぴ祭りと同じ日、平成30年5月12日(土)

10:00~11:00、わーくはうすすてっぴにて、島旅作家で写真家の河田真智子氏を講師としてお招きし、講演会を開催しました。

当日は、障害者支援施設職員、障害者のご家族、市民等、約80名が聴講しました。重度の障害を抱える自分の娘、夏帆さんの素顔や生活をスライドで紹介しながら、河田さんが語る様々な経験や話に会場中の誰もが聞き入っていました。また相模原の事件に触れながら、障害があっても生きる価値はある、どんな人でも生きることは美しい、と力強くお話しされ講演を締めくくると、会場からは盛大な拍手が沸き起こりました。

また、講演会の様子は、毎日新聞と上毛新聞にて大きく紹介されました。



講演会の様子

～聴講者の感想～

○今まで一番辛かった経験の話として、夏帆さんが施設での誤嚥や、車いすのベルトがされていない話、その後の施設の対応を聞いた時、親御さんがどのような気持ちで障害者の子どもを施設に預けているか、預かる側として親御さんが安心・納得のいく支援ができていないのか、自分の支援を振り返ることができました。(ぴいす FY)

○夏帆さんにいつも「ありがとう」というヘルパーさんの気持ちがよくわかります。正直、大変な時もありますが、それ以上に利用者さんの笑顔や成長、何気ない日常と一緒に過ごせること、いろいろな世界を見せてくれることに嬉しくなり、気持ちがほっこりします。(ケアホームRUN KM)

○講演の中で現場の重要性、「心のコミュニケーションがとれるようになること」というお話がありました。言葉では伝えられないものの、様々な手段で利用者さんは伝えようとしてくれます。現場のスタッフとして、それに寄り添い、少しでも利用者さんの思いに近づけられるように「心のコミュニケーション」ができ、笑顔がたくさん増えるように、身を引き締めていきたいと思いました。(れいんぼうかんぱに TN)

○一番心に残ったことは、「障害は特別なことではない。障害を持っていても変わらない日常があること。少しでも障害を持つ人のことを知ってほしい。」という言葉だった。私が支援している子どもたちは笑顔で毎日を過ごしている。しかし、その裏でご両親は様々な出来事に直面しては悩み、とても深い愛を持って考え、相談し解決することを繰り返して毎日を送っていることを改めて感じました。(キッズクラブ UR)

研修委員：後藤



河田真智子写真集「生きる喜び」

デンマーク福祉・教育視察報告 2017.8.21~27

H30.8.25 社会教育支援センター

れいんぼう かんぱに 齋藤和美

説明者：ギテ・カールスベアさん

基本情報

スタッフ：360人

現在利用者：460人（最高95歳）

対象者：18歳以上から亡くなるまでの障害者。



ギテ・カールスベア氏の説明の様子

利用について

デンマークでは、障害を持って生まれた場合、障害がわかった時点で登録をされます。

① 障害者としての登録 ② マイナンバーとしての登録

この2つの登録により、その人のすべての経歴を見ることができます。その内容はどこに移動しても伝達される仕組みになっています。18歳までは親に扶養義務があり、決定権がありますが、18歳以上（成人）になると、親の扶養義務から外れ、独立する（親から離れて暮らす）必要がでてきます。その時点で、親に決定権はなくなり、個人が自分の人生を決定することになります。決定する能力を持っていない人は、他者のサポートを受けることになります。

※実際は…親に決定権がないということに納得できない方が多く、法律で定められていることや、必要なサポートだからこそ受けられるのだと、本人と家族に納得してもらうことが第一ステップになっているとのこと。

利用の流れ

18歳になったら、自分で自治体に相談するか、親が自治体に支援を要請し、本人と親と自治体のソーシャルワーカーで面談をおこないます。自治体が介入し、どういう支援が必要か考えます。これからどこに住むか、具体的にどういう必要性がありどういう住宅がいいか等を話し合います。その後、希望する住居の訪問をし、検討します。決定となれば、賃貸契約を結びます。電気、水道、光熱費がかかりますが、年金でまかなえる金額となっています。そして、何時間生活支援が必要か、医療支援が必要か等を決めます。これは、ソーシャルワーカーが判断することになります。

※いかに周りがソーシャルワーカーに情報を伝えられるかがポイントになってきます。

ソーシャルワーカーだけではなく、経験豊富な人がアドバイスに入ることも可能で、大切とのこと。

どういうゴール設定で何を達成したいか等を決めて、まず3か月実践します。

そして評価し、次のステップへ……

3ヶ月実践 → 評価・見直し → 1年実践

→ 評価（自治体、第三者機関のチェック） → 新目標

一番大切なこと……無理だと思ってもあきらめずに、色々な方策を練ること！

……………感想……………

障害を持って生まれた時点で、登録され、小さいころから必要な支援が受けられることを知り、障害があってもなくても生きやすい社会が確立されていることを改めて感じました。障害のある本人も家族も安心して暮らせるような仕組みができていて、それによって、支援者の連携も取れている。一生を通して、安心安全で質の高いサポートがあると感じました。制度を真似することはできませんが、連携を取りながら、毎日沢山の幸せある日々を作っていけたらと思います。

H29.8.24 Egehuset(子供と若者のための特別教育ネットワーク)

れいんぼうかんぱに 富沢奈央

説明者：リーネ・ポウルセン氏

Egehuset (エグフーセット) は、6～18歳までの子供・若者が、学校が終わった後、又は、学校に行けていない子が学校以外で時間を過ごしたり、特別教育を受けたりすることができる場所(ネットワーク)です。ここでは、自閉症の人が多く通っています。できるだけ早い時期から生活に関わり、その人の人生をより良いものに、より生きやすくすることを目的としています。

自治体のソーシャルワーカーが最初の窓口となり、心理学者・理学療法士・病院・子どもの心理学・精神医学などとの協力体制が整っています。また、家族と連携し、障害者も障害者をもつ家族もより良い人生が送れるようにすることを大きなポイントとしています。そのためにも、親、兄弟・姉妹、祖父母それぞれに向けた講習会なども定期的開催し、障害者だけでなく、障害者の周りの人々へのサポートなども行っています。

以下、研修の中で印象に残った内容についてご紹介致します。

〈道具の紹介〉



〈重いベスト〉

- 特徴**：重い
体が締め付けられる
- 使い方**：子どもによって異なる
(1時間、1日 etc)
- 効果**：締め付けられる安心感
神経への刺激

〈重い布団〉

- 種類**：①ボール
②チェーン
- 特徴**：①音がする
②重みがずっしりと体に伝わる
チェーンが人気!
- 効果**：包まれている感覚



〈感覚過敏な子の感覚へのアプローチの紹介〉

①ブラッシングプログラム

- 方向：心臓から遠い方向へ
- 箇所：おなか、手のひら、足の裏以外
- 回数：1日6回
- 効果：鋭すぎる感覚を緩和
神経が鎮まる

さらに効果的に!

②体の中心部方向に関節を押す

- 箇所：全ての関節
- 順番：手の指→手首→肘→肩→足の指
足首→膝→股関節
※指は第一関節、第二関節
※左右同じように
- 回数：1日6回
- 強さ：強くても気持ち良いと感じる

〈道具の使用・アプローチをしていく上での具体的なやり方〉

- ① 1日 5回 3か月 (「もう、わかったよ」と言ってもやり続ける)
- ② 1日 2回 3か月 (回数を減らして、また3か月行う)

☆何回も繰り返すことで、シナプス回路が形成され、脳にインプットされる!

成功するための秘訣 ⇒ しつこくやり続けること!!!

デンマークでは、福祉のサービスが必要とされた時に、窓口が統一されている・役割がしっかり分担されている・様々な機関の協力体制が整っているなど、サービスを受ける流れや支援の方法・考え方が確立されていました。その為、将来をイメージしやすく安心して生活を送っていただけるので、『世界一幸せな国』に繋がるのではないかと肌で感じました。また、働いているスタッフも専門性が高く、自分の仕事に対して誇りをもって働いているなど感じました。仕事は残業せず、利用者もスタッフも仕事以外の時間も充実したものにし“人生を楽しむ”そんな雰囲気が国全体で感じられました。私も目標を持って専門性を高め、自分の強みを探し誇りを持って働いていく、プライベートでは様々な体験をして感性を磨き「人生を楽しもう♪」と思いました。そして、障害のある方・そのご家族が『すてっぴなら今後の人生も安心!人生楽しい♪』と思ってもらえる場所にしていきたいです。

成功の秘訣は、“しつこくやり続けること!”の実感エピソード

現在、私の所属するれいんぼうかんぱにの生活介護班では、上記の重いベストと布団を使用しています。

ベストは、昨年11月に挑戦してみたのですが、着せられずそのまま断念していました。そこで北欧研修でのことを思い出し、4月から再チャレンジ「ベストをつけることの居心地の良さや安心感」を体感してもらう為に、休憩時にはしつこく毎日着用を続けました。すると変化ができました!ベストを着用しない時には30分以上横になれず、立ったり座ったりを繰り返していましたが、今では、ベストを着用し10分くらいで座り始め、その後横になって休めることが増えています。ベストの効果を実感し、それと同時に、“しつこくやり続けること”の重要性を実感しました。

H29.8.25 特別教育研究センター(VISP)

れいんぼう かんぱに 齋藤陽一

教育・アドバイス・コンサルティングを行っており、市民で障害のある人を対象（視覚、聴覚、脳神経）に必要な情報提供するセンター。特に聴覚障害の人が多く利用している。

16歳～17歳以上の義務教育を終えた人が利用可能。スタッフは、37人（うち25人が教育コンサルタント）で、VISP本部（ネストベ市）の他に、周辺3都市にも支局があり、同じ機能を果たしている。

利用するには、市のソーシャルワーカー（すべてのサービス利用の窓口になっている）へ相談する。

デンマークでは、法律（成人への特別教育法、サービス法）に則ってサービスが提供される。①補聴器具等を無償で提供。②必要なサービスを無償で受けられる。③活発な就業、雇用活動をする。（リハビリして復帰。何らかの形で仕事ができる様に）

個人に対して、国ができるだけ自立して、最後まで質の高い生活を送って欲しいという希望を持っている。その為、聴覚障害の人については、きちんと耳が聞こえる必要があると考えがあり、きちんと聞こえる事によって学習できたり、働き続ける事ができたり、認知症を遅らせる事ができる。その結果、周囲から孤立しない生活を送る事ができている。

また、脳性麻痺や脳障害等により、コミュニケーションができない人がVISPに相談した事で、その人に合った器具を紹介され、コミュニケーションする事ができるようになったり、仕事に復帰できる人もいる。



目の動きで入力可能なパソコン

H29.8.25 グループホーム

（ネストベ市では125名が利用しており、そのうちの1つのホーム）

定員は19人。車いすや歩行できる人など、障害程度は様々。

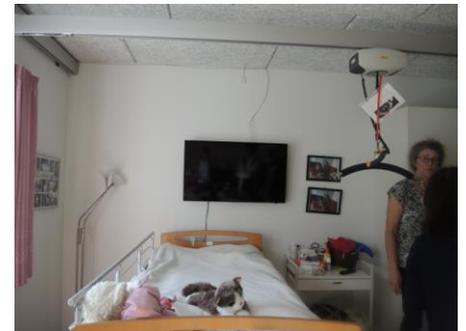
3つのグループに分けて、それぞれのリビングで過ごしたり、食事をしている。日中は、通所施設を利用する人、ホームで過ごす人がいる。

すべて個室で、部屋にトイレ、キッチン、お風呂が完備されている。居室は、自分の好きな家具を置いたり、壁にも絵や写真など飾りつけをすることができる。

利用するには、市のソーシャルワーカーに相談。デンマークでは18歳になると成人として扱われ、自立した生活をしなければならない。自宅では生活できないと判断されると、グループホームの利用となるが、自宅で介護を受けて生活できると判断された人は自宅で生活する。（必要なサービスは必ず利用できる）

ホームの費用（家賃・水光熱費・食費）はすべて自己負担。但し、本人に年金（およそ31万円）が支給されており、費用はすべて年金で賄える。（物価も高いので、お小遣いはそれ程残らない）

このホームのスタッフは、日中3名、夜間1名で対応。運営は自治体が行っており、職員配置は自治体で決定している為、地域によって異なる。食事は、セントラルキッチンから運ばれて来るので、スタッフが温めなど、簡単な仕上げ、盛付けを行っている。



天井走行リフト付き居室

視察先で聞いた「国として、個人が最後まで質の高い生活を送って欲しいという希望を持っている」という言葉がとても印象的で、その為に必要なサービスが無償で受けられるような体制が整っていた。

日本では、「親なき後」についての課題が解決されず、支援センターで相談を受けているご家族からも多くの相談を受けている。今ある資源だけで検討し続けるのではなく、今後、不足している必要なサービスについても考え、少しでも増やして行けるような働きかけをする事が必要だと感じました。

平成29年度 社会福祉法人すてつぷ 会計報告

(自)平成29年4月1日 (至)平成30年3月31日

(単位:円)

会計 区分	収支計算書				貸借対照表			
	借方		貸方		借方		貸方	
法人本部	事務費支出	3,121,164	地域生活支援事業収入	433,620	流動資産	30,847,816	流動負債	2,479,266
	事業費支出	215,821	経常経費寄付金収入	4,235,624	固定資産	18,400,193	基本金	13,622,000
	固定資産取得支出	108,000	受取利息配当金収入	235			特別積立金	6,241,920
	積立資産支出	3,000,000	その他の収入	405,213			その他積立金	3,700,000
	拠点区分間繰入支出	6,450,000	積立資産取崩収入	4,000,000			次期繰越金	23,204,823
	当期資金収支差額	3,129,707	拠点区分間繰入収入	6,950,000				
	計	16,024,692	計	16,024,692	計	49,248,009	計	49,248,009
	事務費支出	3,272,663	地域生活支援事業収入	7,830,722	流動資産	7,183,639	流動負債	1,869,996
	事業費支出	2,007,638	借入金利息補助金収入	76,400	固定資産	123,023,032	固定負債	4,400,000
	支払利息支出	79,200	受取利息配当金収入	41			特別積立金	86,245,586
借入金元金償還支出	1,100,000					その他の積立金	6,760,000	
積立預金積立支出	1,000,000					次期繰越金	30,931,089	
当期資金収支差額	447,662							
計	7,907,163	計	7,907,163	計	130,206,671	計	130,206,671	
すてつぷ ヘルパーステーション	事務費支出	19,052,962	障害福祉サービス等事業収入	10,669,533	流動資産	9,254,653	流動負債	1,615,361
	事業費支出	1,808,387	地域生活支援事業収入	7,999,630	固定資産	2,280,289	固定負債	237,448
	積立資産支出	34,824	受取利息配当金収入	29			その他の積立金	1,500,000
	拠点区分間繰入支出	1,030,000	積立資産取崩収入	128			次期繰越金	8,182,133
	当期資金収支差額	-3,256,853						
計	18,669,320	計	18,669,320	計	11,534,942	計	11,534,942	
生活支援センター 前橋市障害者	事務費支出	19,094,642	障害福祉サービス等事業収入	6,140,765	流動資産	6,877,073	流動負債	4,287,340
	固定資産取得支出	1,347,554	地域生活支援事業収入	17,980,000	固定資産	4,766,440	固定負債	601,664
	積立資産支出	804,912	受取利息配当金収入	47			その他の積立金	2,450,000
	拠点区分間繰入支出	2,507,537					次期繰越金	4,304,509
	当期資金収支差額	366,167						
計	24,120,812	計	24,120,812	計	11,643,513	計	11,643,513	
福祉事業 支援センター 前橋市基幹相談	事務費支出	6,227,544	地域生活支援事業収入	6,270,000	流動資産	69,190	流動負債	69,190
	当期資金収支差額	0	受取利息配当金収入	7			次期繰越金	0
			拠点区分間繰入収入	7,537				
計	6,227,544	計	6,277,544	計	69,190	計	69,190	
ケアホーム R U N	事務費支出	65,110,144	障害福祉サービス等事業収入	87,466,122	流動資産	16,748,693	流動負債	16,721,140
	事業費支出	12,714,570	受取利息配当金収入	35	固定資産	165,409,299	固定負債	60,793,936
	支払利息支出	518,155	その他の収入	13,000			基本金	6,236,102
	借入金元金償還支出	6,384,000	施設整備等寄付金収入	2,300,000			特別積立金	28,797,471
	積立資産支出	2,409,440	拠点区分間繰入収入	1,180,000			その他の積立金	6,555,000
	当期資金収支差額	3,822,848					次期繰越金	63,054,343
	計	90,959,157	計	90,959,157	計	182,157,992	計	182,157,992
まえばし ワークセンター	事務費支出	27,220,029	地域生活支援事業収入	5,630,648	流動資産	33,975,231	流動負債	33,975,231
	積立資産支出	8,160	公益事業収入	21,597,541	固定資産	20,720	固定負債	20,720
	当期資金収支差額	0					次期繰越金	0
計	27,228,189	計	27,228,189	計	33,995,951	計	33,995,951	
キッズクラブ	事務費支出	13,604,539	障害福祉サービス等事業収入	13,680,222	流動資産	3,255,893	流動負債	5,415,663
	事業費支出	1,228,754	受取利息配当金収入	12	固定資産	73,858,925	固定負債	20,846,976
	支払利息支出	81,326	積立資産取崩収入	23,177			特別積立金	44,202,176
	借入金元金償還支出	1,716,000	拠点区分間繰入収入	898,667			次期繰越金	6,650,003
	積立資産支出	38,592						
	拠点区分間繰入支出	1,339,013						
	当期資金収支差額	-3,406,146						
計	14,602,078	計	14,602,078	計	77,114,818	計	77,114,818	
リトルキッズクラブ	事務費支出	11,033,267	障害福祉サービス等事業収入	17,313,405	流動資産	3,843,735	流動負債	4,551,112
	事業費支出	655,545	受取利息配当金収入	7	固定資産	23,184	固定負債	1,623,184
	支払利息支出	58,369	その他の収入	300,000			次期繰越金	-2,307,377
	借入金元金償還支出	2,400,000						
	積立資産支出	9,312						
	拠点区分間繰入支出	2,387,682						
	当期資金収支差額	1,069,237						
計	17,613,412	計	17,613,412	計	3,866,919	計	3,866,919	

社会福祉事業	わーくはうすてつぷ	就労支援事業支出	19,591,671	就労支援事業収入	20,268,689	流動資産	35,910,850	流動負債	18,035,663
		事務費支出	83,843,678	障害福祉サービス等事業収入	88,952,823	固定資産	194,453,490	固定負債	922,472
		事業費支出	11,591,431	経常経費寄付金収入	5,000			基本金	121,101,701
		積立資産支出	164,016	受取利息配当金収入	152			特別積立金	54,123,705
	拠点区分間繰入金支出	16,790,000	その他の収入	58,018			その他の積立金	6,900,000	
	当期資金収支差額	-17,196,114	積立資産取崩収入	5,500,000			次期繰越金	29,280,799	
	計	114,784,682	計	114,784,682	計	230,364,340	計	230,364,340	
	とらっぱ	就労支援事業支出	25,628,449	就労支援事業収入	24,481,541	流動資産	26,530,680	流動負債	4,457,177
		事務費支出	36,971,588	障害福祉サービス等事業収入	49,854,036	固定資産	20,564,426	固定負債	1,150,024
		事業費支出	1,340,688	経常経費寄付金収入				その他の積立金	17,650,000
		支払利息支出	57,863	受取利息配当金収入	144			次期繰越金	23,837,905
	固定資産取得支出	158,544	その他の収入	219,031					
	積立預金積立支出	2,636,920	積立資産取崩収入	3,000,000					
	拠点区分間繰入金支出	5,240,000							
	当期資金収支差額	5,520,700							
	計	77,554,752	計	77,554,752	計	47,095,106	計	47,095,106	
社会就労センター	就労支援事業支出	37,312,308	就労支援事業収入	35,218,358	流動資産	13,629,144	流動負債	8,369,702	
	事務費支出	38,326,186	障害福祉サービス等事業収入	50,098,377	固定資産	55,938,843	固定負債	27,139,384	
	事業費支出	5,356,152	受取利息配当金収入	38			その他の積立金	1,055,600	
	支払利息支出	211,182	拠点区分間繰入金収入	2,518,028			次期繰越金	33,003,301	
借入金元金償還支出	2,399,000								
積立資産支出	93,760								
拠点区分間繰入金支出	80,000								
当期資金収支差額	4,056,213								
計	87,834,801	計	87,834,801	計	69,567,987	計	69,567,987		
れいんぼうかんぱに	就労支援事業支出	2,259,587	就労支援事業収入	401,791	流動資産	15,588,183	流動負債	16,415,528	
	事務費支出	16,229,946	障害福祉サービス等事業収入	21,514,628	固定資産	125,325,428	固定負債	60,326,952	
	事業費支出	2,443,563	経常経費寄付金収入	46,000			基本金	40,843,604	
	支払利息支出	218,468	受取利息配当金収入	8			次期繰越金	23,327,527	
借入金元金償還支出	1,632,000	施設整備借入金収入	65,000,000						
固定資産取得支出	86,030,188	拠点区分間繰入金収入	24,270,000						
積立資産支出	25,200								
当期資金収支差額	2,393,475								
計	111,232,427	計	111,232,427	計	140,913,611	計	140,913,611		
公益事業	すてつぷ	事務費支出	13,388,938	公益事業収入	13,484,720	流動資産	2,435,203	流動負債	2,560,386
		事業費支出	848,748	受取利息配当金収入	9	固定資産	229,120	固定負債	214,992
		積立資産支出	28,888					次期繰越金	-111,055
		当期資金収支差額	-781,845						
計	13,484,729	計	13,484,729	計	2,664,323	計	2,664,323		
レスバイト	公益事業	事務費支出	54	公益事業収入	0	流動資産	311,700	次期繰越金	311,701
		当期資金収支差額	-52	受取利息配当金収入	2	固定資産	1		
計	2	計	2	計	311,701	計	311,701		

財産目録

平成30年3月31日現在		社会福祉法人 すてつぷ	
資産		負債	
科目	金額	科目	金額
基本財産		短期運営資金借入金	15,000,000
土地	213,544,088	事業未払金	34,478,922
建物	457,334,045	一年以内返済予定借入金	17,480,000
運用財産		預り金	209,496
現金	1,450,565	職員預り金	361,961
普通預金	47,060,035	前受金	260,000
売掛金	4,219,688	設備資金借入金	171,499,000
事業未収金	97,638,679	長期運営資金借入金	1,600,000
商品・製品	1,451,206	退職給与引当金	5,178,752
原材料	1,230,134		
前払金	379,000		
その他の固定資産	113,415,257		
計	937,722,697	計	246,068,131
差引純資産			691,654,566

社会福祉法人すてつぷ 理事・評議員

理事長	鈴木 隆子
理事	今野 みや子
理事	坂 柳 幸子
理事	戸 丸 史郎
理事	根 岸 由記
理事	新 井 亘
評議員	鈴木 基司
評議員	山西 哲郎
評議員	佐々木 弘道
評議員	今 井 通安
評議員	齋 藤 寛
評議員	森 田 房江
評議員	武 田 康晴
監事	石 川 正克
監事	田 中 克己

♡ 後援会費納入ありがとうございます ♡

相川幸治様、阿部郁代様、新井豊子様、新井恒之様、飯島隆光様、飯島真紀様、石橋英子様、石井節子様
 一倉憲一様、入間川典子様、岩崎里佳様、追川祐次様、大久保裕史様、大熊昭二様、大谷久子様、
 大塚槇生様、大畠良美様、岡田登美江様、奥泉浩子様、女屋さみ江様、女屋えり子様、小野木敏晴様、
 小野口房子様、恩田光子様、金居孝子様、唐澤圭子様、河合俊一様、神田和久様、河内那保子様、
 川俣敏子様、川面智恵子様、神澤智恵子様、北爪雅夫様、清宮聖子様、草間美恵子様、倉林未菜美様、
 黒岩全代様、黒澤巻雄様、児玉峰子様、今野光雄様、斎喜広栄様、齋藤直子様、齋藤乾史様、坂井一典様、
 齋藤寛様、佐藤佳朗様、猿木素子様、(医)さるきクリニック様、島田良子様、清水幸恵様、清水文子様、
 白石春枝様、(株)シバインシュアランス様、鈴木 潔様、鈴木良昭様、鈴木芳雄様、須藤幸男様、
 関口純子様、善方明子様、高橋寿夫様、高橋秀夫様、宝田好夫様、竹内有紀様、竹内和子様、常岡裕様、
 勅使川原恵子様、戸所重幸様、戸丸史郎様、豊國悦雄様、中川葉子様、中島敬一様、中島初江様、中島宏様、
 中嶋新吉様、中津山達也様、中村紀雄様、中山さち江様、中山康江様、並木なつ江様、長谷川恒子様、
 蜂巣史良様、平井恵治様、平岩康子様、廣瀬明美様、深井浩様、福原雅子様、星野知之様、前川宏様、
 松井行加様、松房衣子様、丸山千恵子様、(有)丸又様、峯岸千鶴子様、本山朱実様、本山真吾様、山田文雄様、
 山崎七瀬様、横澤正樹様、綿貫由美子様、渡辺和幸様、竹内厚仁様

♡ 後援会ご寄付 ♡

♡ ありがとうございます ♡

伊藤美代子様、大島まゆみ様、
 星野栄子様、小我野春江様

♡ すてっぴ祭り寸志 ♡

♡ ありがとうございます ♡

池田義久様、女屋音松様、女屋兼雄様、女屋さみ江様
 女屋常治様、森田房江様、大谷律子様
 (有)サンサンすてっぴ様

♡ ホーム建設基金 ♡

♡ ご寄付ありがとうございます ♡

黒澤巻雄様、中村紀雄様

♡ ご寄付ありがとうございます ♡

シューゴシュー(有)SGS365様、すてっぴ後援会様、鈴木基司様

☆平成30年度後援会費の納入をお願いします☆

後援会費 個人会員 3,000円～(1口 3,000円以上)
 団体会員 10,000円～(1口 10,000円以上)
 上記の会費を直接後援会事務局へお持ちいただくか、郵便振込にてお申込みください。
 口座番号 00120-4-192242 加入者名 「すてっぴ後援会」

・わーくはうす すてっぴ	〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-6161
・社会就労センターぴいす	〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-6161
・とらっば	〒371-0017 前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-219-2525
・れいんぼう かんぱに	〒371-0246 前橋市柏倉町 520-1	TEL 027-226-1547
・ヘルパーステーションすてっぴ	〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-2233
・ケアホームRUN	〒371-0017 前橋市亀泉町 3-32	TEL 027-289-5605
・メゾンすてっぴ	〒371-0004 前橋市亀泉町 3-83	TEL 027-269-7444
・ケアホームすきっぴ	〒371-0004 前橋市亀泉町 3-41	TEL 027-288-0704
・わくわくハウス	〒371-0007 前橋市上泉町 338-1	TEL 027-289-8177
・ケアホームじゃんぷ	〒371-0007 前橋市上泉町 338-2	TEL 027-212-7730
・すまいるホーム	〒379-2114 前橋市上増田町 1852-5	TEL 027-289-5660
・前橋市障害者生活支援センター	〒371-0017 前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-236-0001
・ワークセンターまえばし	〒371-0017 前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-231-7345
・サービスステーションすてっぴ	〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-2233
・Kid's Club	〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 2	TEL 027-289-6162
・Little Kid's Club	〒379-2164 前橋市東上野町 136 番地 2	TEL 027-289-6162